

AM局の運用休止に関する報告

南海放送では、総務省による「AM局の運用休止に係る特例措置」に参加し、2024年4月1日から2025年1月31日までの間、特例適用局（AM新居浜局、AM宇和島局、AM八幡浜局）の運用休止を実施しましたので、その調査結果について報告します。

運用休止期間中、ラジオやテレビ、新聞、SNS、自治体広報誌、チラシ、ポスターなどさまざまな媒体を活用し周知広報に努めるとともに、リスナーからの問合せに対しては専用の電話番号を設け、メール（ホームページの問合せフォーム）からの問合せに対応してきました。なお、現在、特例適用局3局は、2026年9月30日まで運用休止を延長しています。

【調査概要】

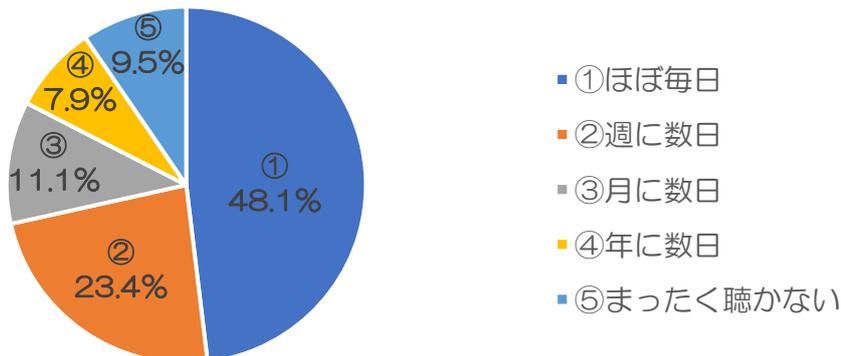
特例適用局の放送区域内にお住まいの方を対象にアンケートを実施しました。

実施方法： 南海放送アプリ、ホームページ、対面によるアンケート調査を実施

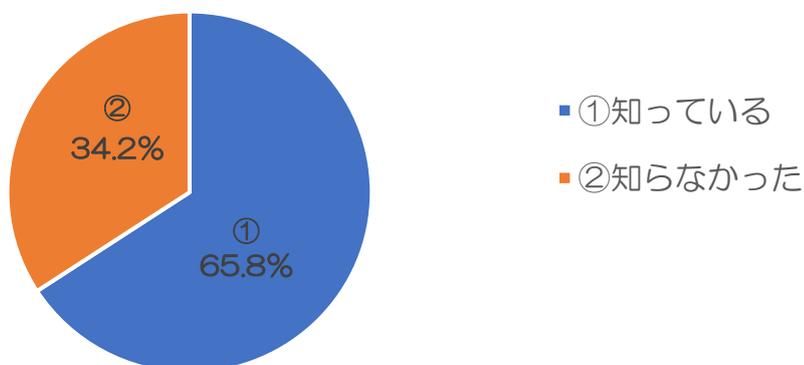
実施期間： 2024年2月1日～2025年1月31日

回答数： 368件

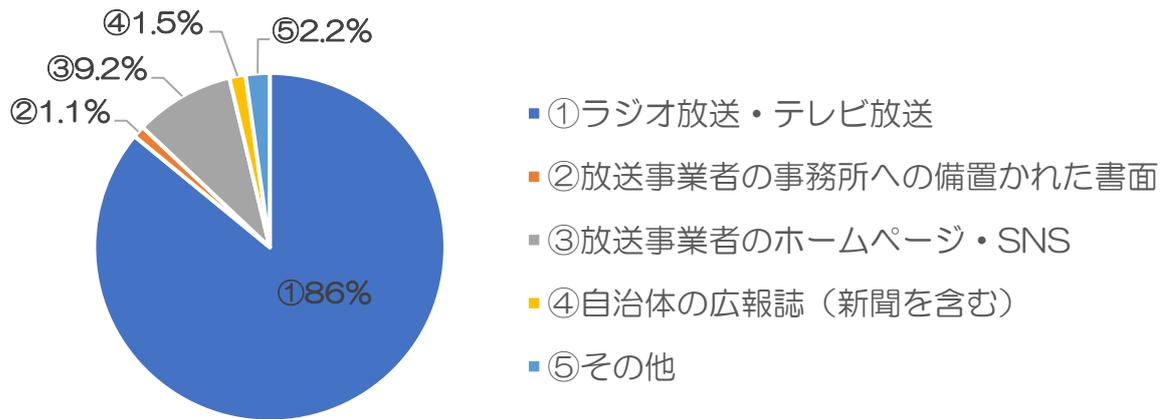
■ AMラジオ放送を聴く頻度をお知らせください。(N=368)



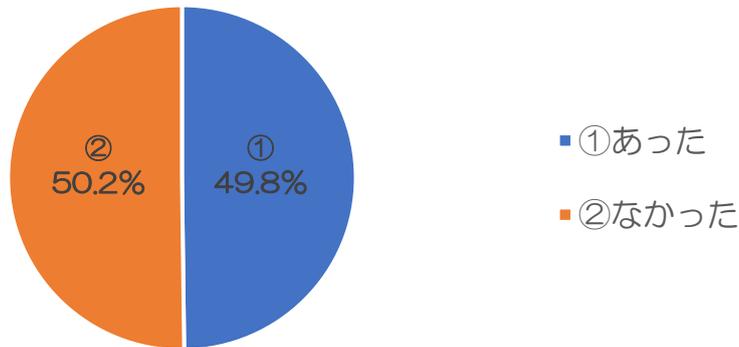
■ AM局が運用休止したことについて知っていますか。(N=368)



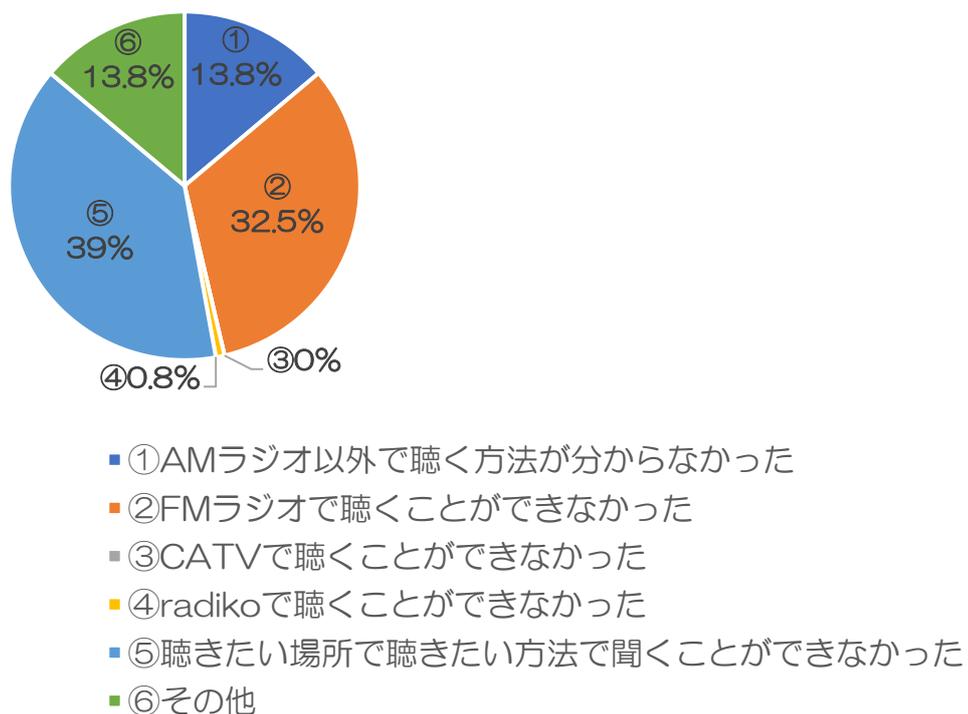
■ AM局の運用休止を知るきっかけとなった情報源についてすべてお知らせください。(N=271)



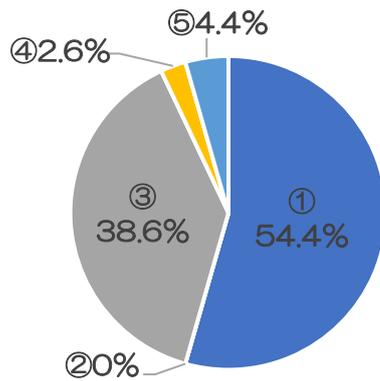
■ AM局の運用休止を行ったことにより、不便はありましたか。(N=275)



■ 不便があった内容をお知らせください。(N=123)

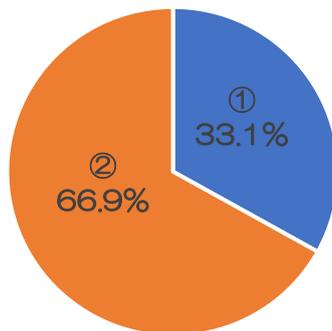


■ 不便がなかった理由をお知らせください。(N=114)



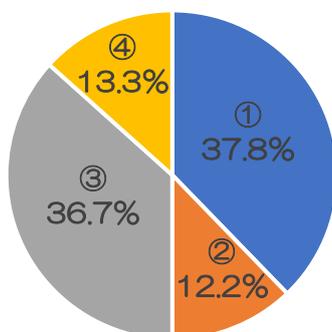
- ① FMラジオで聴くことができたから
- ② CATVで聴くことができたから
- ③ radikoで聴くことができたから
- ④ 周波数が異なるAMラジオ放送で聴くことができたから
- ⑤ その他

■ 運用休止を行ったAM局について、このまま休止を継続した場合支障はありますか。(N=242)



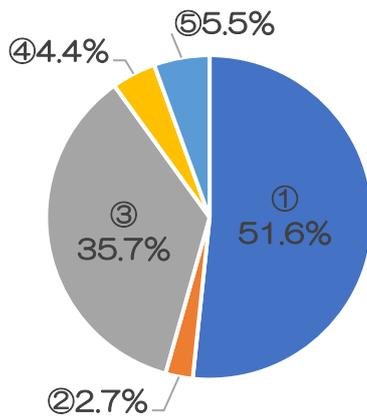
- ① 支障がある
- ② 支障はない

■ 支障がある理由をすべてお知らせください。(N=90)



- ① 他の手段で聴くことができないから
- ② 他の手段で聴く方法がわからないから
- ③ 災害時やネット回線障害時にも聴くことができるAMラジオが必要だから
- ④ その他

■ 支障がない理由を教えてください。(N=182)



- ①FMラジオで聴くことができたから
- ②CATVで聴くことができたから
- ③radikoで聴くことができたから
- ④周波数が異なるAMラジオ放送で聴くことができたから
- ⑤その他

アンケート結果より、AM局の運用休止について約66%の方に認知されていました。運用休止を知るきっかけは、ラジオとテレビが最も多く約86%でした。このことから、情報発信としてのラジオとテレビの媒体価値は高く、周知広報の手段としては有効なものでした。

また、これまで聴いていたラジオで聴けなくなった不便や支障があったとする理由をふまえて、ワイドFM対応ラジオやradikoへの聴取環境の切替を丁寧に、そしてこれまで以上に周知してまいります。さらに、昨今、各地で頻発している水災害などにおいては、AMよりFM送信設備のほうが災害に強いということなども分かりやすく説明し、FM転換へのご理解を求めていきます。あわせて、災害などに備えて非常用持ち出し袋にあるAMラジオをワイドFM対応ラジオへ交換していただくよう呼び掛けていきます。

弊社は、安定した放送を実現するためにも、2028年秋までにAMからFMへの転換を目指しております。みなさまのご理解をよろしくお願いいたします。